

吉内科小児科ニュース

発行所：土川内科小児科
二本松市榎木252の3
TEL:0249-22-9999
編集責任者：土川研也

はつめじ

自分が育った二本松で、少しでも皆さんの役に立てればと考えて始めたこの診療所も今年の八月でまる五年になります。おかげさまで、当院をかかりつけ医と考えてくださっている患者さんも多いが、増えすぎてまいりました。



「親切・丁寧」を motto として、診療に当たっているつもりですが、時間的な制約などから、なかにはよく説明してもらえなかったと感じられている方もいるかと思えます。そこで、「当院」と「当院をかかりつけ医と考えてくださる患者さん」との「コミュニケーション」をはかることを主な目的とした情報紙を発行することにいたしました。当院には、すでに「こんにちわ」という情報誌がありますが、この情報紙はより身近でもっと密着した内容にしようと思っております。当院からの連絡やお願いのほか、よく聞かれる質問を中心としたQ&A、話題の医学情報の解説などを中心として紙面作りをしていきたいと考えております。

毎月発行を目標にがんばりたいと思いますので、よろしくお願ひ致します。なお、この紙面をコピーしたものを（カラーではありません）は、受付などにおいてありますので、ご希望の方はお持ち帰りください。

予防接種専用の時間帯を設置

平成6年に「予防接種法」が改正され、予防接種を受けるお子さんと一般の患者さんが接触することがない様に、予防接種の時間または場所を変えることが義務づけられました。これを守らずに予防接種を実施した場合、副作用などの健康被害などが見られても国の保証が受けられない可能性があります。そのため、当院では午後の診療時間を2時から変更し、午後1時半～2時（水曜日を除く）を「予防接種専用の時間」としました。予防接種を受けに来たお子さんが、風邪などをうつされてしまうことのないよう、午後の診察は2時以降に受診くださいますようお願い申し上げます。



時間外診療について

当院では、診療時間終了後や、休日には電話が留守番電話となり、「ただいまの時間は診療していませんが、かかりつけの患者さんで急病でお困りの方は、030-646-1550」におかけ直してください」というメッセージが流れます。これは、どこへ行くときでもたずさえている携帯電話の番号です。時間外診療はしませんということではありませんので、かかりつけの患者さんで、突然の発病などでお困りの時は、ご遠慮なくこの番号へお電話ください。かかりつけの患者さんに限らせていただいているのは、すべの依頼におこたえするのは、体力的に無理だと考えているからです。なお、夜間などで不在の時や、休日二本松を離れている時には、すぐにはこ

「小児科豆知識(1)」

熱さましの使い方：熱が出たからといっても、熱さましを使わなければいけないということではなく、風邪の熱だけで、脳に障害が残ることもありません。熱にはウイルスの増殖を押さえ、抗体を作る働きがありますので、熱さましはその邪魔をしてしまうことになります。さらに熱さましを使うことで発熱日数が長引くことが分かっていますので、熱さましは38 以上で、つらそうにしていたら使ってください。38 以上でも、ケロツとしているような時には使わなくてもいいのです。熱さましには病気を治す力はなく、一時的に熱を下げるだけの働きしかなく、また熱が高いからといって重症とは限りませんので、熱を下げることはかりに気を取られないように気をつけたいものです。熱さましは使っても1日3回（坐薬では1日2回までのものもあります）までが原則ですので、最低でも6時間くらいはあけてください。

【スタッフ紹介】

今回は一番最初ですので、院長の自己紹介です。
昭和27年12月25日生まれ。山羊座。AB型。
身長170cm、体重65kg。
昭和53年 東北大学医学部卒業。
昭和53年 国立仙台病院にて研修。
昭和55年 国立病院に勤務(厚生医官)
昭和60年 仙台市医療センターに勤務(救急部医長)



平成2年 二本松市、栢病院に勤務。
平成4年 開院。現在に至る。
主な資格：医学博士・日本血液学会指導医・日本内科学会認定医。
専門：一般内科および小児科、臨床血液学。
趣味：コンピューター、スキー、ゴルフ、テニスなど道具を使うスポーツは、なんでもしますが、年のせい(?)、最近では子供にせがま

依頼におこたえできず、お待ちいただくこともございますので、「ご了承ください」。夜間などは医師会関係の仕事などで不在のことがよくありますが、日曜・休日などは午前10時ころまでにお電話いただければ、たいいていの場合応需できるはずですよ。最近では共働きのご家庭も多く、なかなか受診できずに、様子をみていたところ、休日や夜間に具合が悪くなつたということをよく経験します。いつでも悪くなつたら診てもらえるからと安心せず、特に子供さんが小さくつちは早めの受診を心がけてください。

